

事業所名

シルビアン スポレク療育館真壁（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念	住み慣れた地域で自立して日常生活を送ることが出来るように支援を行います。また、家族などの介護負担の軽減も図ります。		
支援方針	障害児が生活能力の向上のために必要な支援を行い、及び社会との交流を図ることが出来るよう、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な支援を行います。		
営業時間	9時	0分から	18時0分まで
	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 心身の健康維持や増進、健康状態の把握をする。（来所毎体温測定、気分や気持ちの把握、利用中に体調に異変が生じた際は受診、家族への状態を報告する。） 清潔動作の向上を促す。（手洗いの励行、汚れたり、発汗の多い場合は着替えを促す） 生活リズムの安定ができるよう通学状況や睡眠などの把握をします。 自身の物品を整理整頓ができるようにする。（かばんや靴を所定の位置に収納する、置くことの指導）・長時間利用の場合（朝から受け入れやお昼から夕方までの受け入れの場合）は昼食時間に食育を行う。食事の食べやすい状態への変更、食事の際の姿勢の確認や咀嚼の回数の把握を行い安全に楽しく食事ができるようにする。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな要素を取り入れた運動や遊びを通して体力作り、バランス能力の向上、上下半身の身体の使い方、判断力を身に付けます。 天気がよい時は近くや地域の公園での外遊び、天候不良時には施設内の室内運動スペースでの運動療育を行います。 障害特性や成長に合わせて、自力での移動能力向上のためにサーキット、ボール遊び、鬼ごっこなど移動に関わる遊びを提供します。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知や行動の手がかりとなる、物の機能や属性、形、色、音が変化の様子、空間、時間等の概念の形成を図ることで、それを認知や行動の手がかりとして活用できるよう、認知に役立つ教材や玩具を活用し取り組む。 活動を通じて、数量や形の大きさ、重さ、色の違いを習得できるよう、声かけや児童に選択してもらうなど働きかける。 季節の変化への興味など感性形成の為に行事や活動、外出を行います。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言葉や字で分かりにくい場合は白版で写真で示したり、文字、絵やマーク、記号などを言葉と合わせて用い視覚化を行い語彙力の向上を目指します。 児童の発達段階に対応するコミュニケーション手段として、指差しや身振りや合図を選定し環境の理解と意思の伝達ができる機会をつくります。 障がいの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行います。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> アタッチメントの形成ができるよう、人との関わり方、身近な人との親密な関係の築き方、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。 遊びなどを通じて、人の動きを模倣することにより社会性や対人関係の芽生えを促していきます。 児童に合わせた感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びの環境を整え、見立て遊びやごっこ遊びなどの象徴遊びへ促すことで徐々に社会性の発達を支援する。 他児との関わりが苦手な児童でも一緒に遊べる方法をさがしだし、一人遊びから集団遊びに参加できるようにサポートしていきます。 大人（職員）が常に適切な言葉使いや挨拶をすることで他者への関わり方へのお手本となり、丁寧な言葉使いを教えます。 	
家族支援	家族の介護負担の軽減や支援方法の改善を図れるよう、児童の特性に関する情報や具体的な支援を提案します。ご家族に寄り添いながらサポートできるよう、兄弟児についての相談や保護者の不安にも耳を傾け助言します。	移行支援	具体的な移行先との調整や家族への情報提供、移行先での環境調整に協力します。また移行先との援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達も行います。
地域支援・地域連携	保育所等の子育て機関との連携、医療機関や保健所、児童相談所等との連携を行います。また個別のケース検討のための会議への出席。	職員の質の向上	研修への参加や資格取得の推奨、年間計画として研修機会（社内・社外）の制定、児童に関連のある機関との連携会議への参加。
主な行事等	文化活動や季節を大切にした療育支援を行っていきます。地域の児童と関われるように公園で遊ぶ機会を多くとりまします。		